

# 演奏／長岡竜介ケーナセッション【エル・コンドル】

1990年結成。日本の各界で活躍する音楽家が集い、ラテンアメリカの多彩なフォルクローレ音楽を幅広く紹介しています。

【予定曲目】 アンデス高原の踊り（ペルー、中央高原）、カーニバルの祭典（ポリビア、バージェス）、遙かなる旅路（アルゼンチン、クージョ）、アンヘラ・ローサ（パラグアイ）、コンドルは飛んでゆく（ペルー、クスコ）、愛の絆（アルゼンチン、パンパス）、カリブの旋風（ベネズエラ、ジャーノス）、インカ・太陽宮の処女（ペルー、クスコ）、赤道の鼓動（エクアドル、中央盆地）、白いハンカチは舞う（ポリビア・チリ）、大河の畔（ペルー、アマゾン）、踊る牧人たち（アルゼンチン、サンチャゴ・デル・エステーロ）ほか

※曲目は一部変更になる場合があります

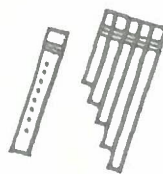
インディオの人々の自然に根ざした感性を源流に、その後もたらされたスペインからのロマンスと情熱、そしてアフリカからの野生と鼓動がまざりあう大陸。ラテンアメリカには、多様な文化がつづれ織りとなった、素晴らしい音楽世界が広がっています。

今回のコンサートでも、ペルー、ポリビア、アルゼンチン、パラグアイ、エクアドル、チリ、ベネズエラなどから、フォルクローレ音楽の名曲の数々をお届けいたします。どうぞお楽しみくださいませ。



皆様のお越しも  
メンバー一同、心より  
お待ちしております。

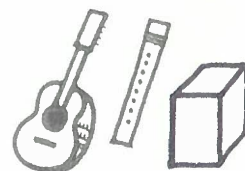
Mr. Ryusuke  
Nagaoka  
QUENA!



ケーナ、サンボニヤ、ボーカル

長岡 竜介

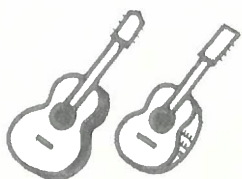
『エル・コンドル』のリーダー。  
1970年代よりケーナを始める。このジャンルのパイオニアの一人。伝統に囚われることなく、ケーナの持つ自然な音色の可能性を追求。本場の音と日本人の感性の融合を目指している。自然と人間と音楽の調和が活動テーマ。趣味は山歩き。



チャランゴ、ギター、ケーナ  
カホン、ボーカル

リカルド・ロドリゲス

ペルー、アレキパ出身。アグスティン大学で芸術音楽を専攻。1970年代より活動を開始。現地音楽祭で各種の賞を獲得の後1986年来日。以来、日本のフォルクローレ界に多大な貢献をしている。海外公演も多くなす。



フォルクローレギター、クワトロ  
タイプレ、チャランゴ

寺澤 むつみ

弦楽器のスペシャリスト。フォルクローレはもとより、ラテン、タンゴなど、南アメリカのほとんどすべての音楽に精通するトッププロである。その卓越したテクニック、表現力、独創性で、国内外を通じ比類なき評価を得ている。



フォルクローレギター

カチョ・カルドーン

南米大陸の抒情豊かで雄大なリズム感の中に、たおやかで繊細なテクニックが光る名ギタリスト。パラグアイ生まれ。のちにアルゼンチン・ブエノスアイレス音楽学校で学ぶ。1990年来日。以来数々のグループに参加。1998年『ライセンス』を結成。ギタリストとしての活動はもとより、作曲、アレンジャーとしても活躍。



アルパ（ラテンハーブ）

藤枝 貴子

アルパの音色の可能性を常に追求している名手。1997年より演奏を始める。日下部由美氏、バビ・ガラン氏などに師事。パラグアイに長期音楽留学。国内でも、有名アーティストとの共演や、『スタジオパーク』、『徹子の部屋』出演など多彩な経歴を持つ。その優美で可憐な音作りに定評がある。



フォルクローレパーカッション

依田 真理子

フォルクローレパーカッションの数少ないプロフェッショナル。世界的な打楽器王国である中南米の代表的太鼓「ボンボ」をはじめ、各種の打楽器を担当。伝統のインディオのリズムから、ラテン系、アフロ系のもので、様々なリズムを叩き出す。